ただいま！ おかえり！
村のみんなのおうち

下北山村 移住交流体験施設
むらんち

拠点をつくる

森で育む学生の拠点創造プロジェクト

「下北山村のために貢献できる学生拠点をつくりたい！地域と継続的に関わっていきたい、自然豊かなこの村で自分にできることは何か」関係人口の取り組み下北山むらコトアカデミー３期生で、村に訪れた学生団体まとい代表の松村萌音さんの言葉から全てがはじまりました。想いを叶えようと動き出した役場職員、地域おこし協力隊、村民たち。コワーキングスペース BIYORIの横にかつてお好み焼き屋さんだった場所が空き家になっておりここを拠点として改修し、新たな風を吹き込む事ができないかと１つのプロジェクトが生まれました。そして、「学生団体まとい」、「大阪工業大学」学生・講師、コーディネーターが、下北山村に集いました。

下北山の第二の家

まなぶ × つながる × あそぶ

- まなぶ：お互いのコトを知る学べる場
- つながる：様々な人が集い会話を生む場
- あそぶ：やりたいことができる遊び場

プロジェクトを進めるにあたり、拠点を訪れる人、村の人が自由に集うことができる、開かれた空間であること。学生拠点であり、移住を検討する方も利用できる施設として、まなぶ × つながる × あそぶ を大切にした拠点づくり（空き家改修）を通じて、下北山の山から家へ 大切な地域資源をここに届けることを目指しました。

まなぶ・つながる・あそぶ

木材の地産地消と DIY

建築設計を担当する「大阪工業大学」の学生・講師は空き家の測量からはじめました。何を残し、何を解体し、どんな空間にしたいか、まといのメンバーたちの「村民さんが気軽に来てもらえる縁側」「集まって作業ができる土間」「料理を教えてもらいながらみんなで準備できる広いキッチンとテーブル」といった声をもとに、設計がスタート。ある日、思い描く拠点の模型が目の前に！一緒に眺めながら世界観をつめていきました。基本設計が決まった時点で、森の現場に役場職員、地域おこし協力隊、下北山製材所のメンバーが集まり、この森からどのくらいの量の木を伐り、搬出すればリノベーションの木材が足りるのかを計算しました。

今回、自伐型林業に取り組んでいる地域おこし協力隊が杉・ヒノキを伐採・搬出、下北山製材所で製材・乾燥・加工をし木材の地産地消を実現しました。下北山村の面積の 92 %は森林、目の前に森が広がっているものの、山から木材にするには「時間」が必要で、設計して単年度で下北山村の木材を使うことはこれまで例がないことでした。「まとい」と「大阪工業大学」の学生たちは定期的に村に通い、村民と共に解体からはじめました。大工さんに基礎工事をお願いし、施工は木工職人の指導のもとプロジェクトに関わったメンバーで床や壁、縁側、外装まで DIYで仕上げていきました。はじめて使う道具、慣れない作業。仲間と協力し合い少しずつ仕上げていきました。このプロジェクトは下北山村で本格的に木材の地産地消をはじめるきっかけにもなりました。

まじわり・つづける

村民と学生の交流

2019年から「下北山村」と都市部の学生が “つながる” ことを目的として活動している「学生団体まとい」。創立メンバーが社会人となった今も後輩が彼らの意志を引き継ぎ定期的に下北山村に来村。下北山村で暮らしを体験したり、森に入って自伐型林業の作業道を見学したり、なくしてはならないもの、大切に残していきたい文化を感じ取り、都会で村のことを伝えています。「まとい」は、村に通い村民と話す機会を作ったり、子供たちと薪割りをしたり、マシュマロを焼いたり一緒に遊ぶ時間も過ごしました。空き家は、そんな学生たちと村民との交流の中でできていきました。

建物が出来上がった頃、コロナ渦で学生は来村できず、建築家を目指す大阪工業大学の学生達がデザインしたキッチン家具は、スカイウッド株式会社に製作依頼、建具は下北山村で木工職人と地域おこし協力隊が製作する風景を東京・大阪をオンラインでつなぎ交流しながらつくりました。拠点は「下北山村がみんなの村になるように」「この場所が村のみんなのおうちになるように」との願いを込めて「むらんち」と名付けられました。山から建築まで一貫してつなぎ、木材を活かし、それぞれの立場の仕事を知り学び、2020 年 12 月にオープンしました。現在、「むらんち」は、学生の学び・貢献の拠点として、移住検討の方、コワーキングの方、ワーケーションで長期滞在する方等に利用されています。「むらんち」は、これからも多くの人と出会い、つながり、まじわりつづける場でありたいと思います。

下北山村 移住交流体験施設
むらんち

村内外での交流・村へ訪問する方の滞在に

村民の方 1階 交流スペース
事前要予約

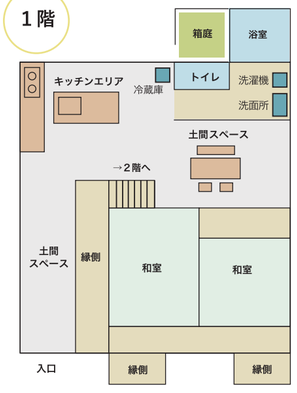
料金：無料　利用時間：9:00 ー 17:00（Last in 16:00）
利用スペース：１階 （和室・縁側・木製キッチン・土間スペース・トイレ）

村外の方 1階 交流スペース ＋ 2階 宿泊スペース
村外の方のご利用条件

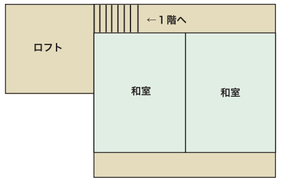
- **村に対して貢献したい！** ご自身の得意なこと、できることを生かし貢献したいと考えてくださる方
- **移住体験してみたい！** 移住を検討しており村での暮らしを体験してみたい方（最大１ヶ月利用可能）
- **テレワーク・ワーケーションで滞在してみたい！** コワーキングスペース BIYORI を拠点に村内で仕事をしながら滞在してみたい方（最大２週間 利用可能）

料金：2,500 円 / 1 泊 ＋ 寝具：レンタル 900 円 / 1 名
チェックイン：13:00-16:00　チェックアウト：10:00　（最大８名様まで宿泊可）
利用スペース：１階 （和室・縁側・木製キッチン・土間スペース・トイレ・浴室シャワー付き）
２階 （和室・ロフト）
各自持参：バスタオル・ハンドタオル・歯ブラシ・シャンプー・リンス・石鹸など

1 階



2 階



下北山村 移住交流体験施設
むらんち

予約

下北山村役場　地域振興課
▶ tel ： 07468-6-0001 （ 受付時間 9:00-17:00　土日祝を除く平日 ）
▶ mail ： kikaku@vill.shimokitayama.lg.jp

● 当施設のご利用には一定の条件がございます。 ●宿泊の一週間前までにお電話またはメールにて予約をお願いします。
● ご利用に関するご案内をさせていただきます。

アクセス

公共交通機関

●**大阪・京都・奈良方面から**
「近鉄大和上市駅」→「R169 ゆうゆうバス」で
２時間 30 分
（R169 ゆうゆうバス平日 16:00発・土日祝 8:30 発）

●**南紀方面から**　平日のみ運行
▶「JR 熊野市駅」 三重交通バス 13:18 発 →
「七色バス停」 村内巡回バス 14:00 発
▶「JR 熊野市駅」 北山村バス 16:35 発 →
「七色バス停」 村内巡回バス 17:17 発
＊土日祝は東京、名古屋方面から電車・バスを乗り継いでの来村はできません

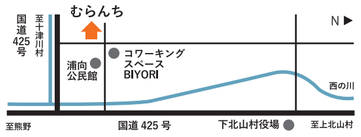
自動車　主なルート

●**奈良方面から**
吉野町　国道 169 号 → 国道 425 号

●**熊野方面から**
県道 156 号 → 県道 309 号 → 国道 169 号
→国道 425 号

＊他ルート・詳細については下北山村役場 WEB・アクセスをご覧ください。

MAP



下北山村 移住交流体験施設 むらんち
奈良県吉野郡下北山村浦向 64

下北山村の暮らしと関わりを届ける「きなりと」
https://kinarito.net/

下北山村ポータルサイト きなりと

コワーキングスペース BIYORI